平成19年度文部科学省　新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援GP）採択

名古屋大学
学生支援メッシュプロジェクト

Mes huttes

メユット

Mes huttes

メユット。

フランス語の「私の仮住まい」という意味のことばと、
英語の「mesh」ということばから名づけました。

メユットの目的

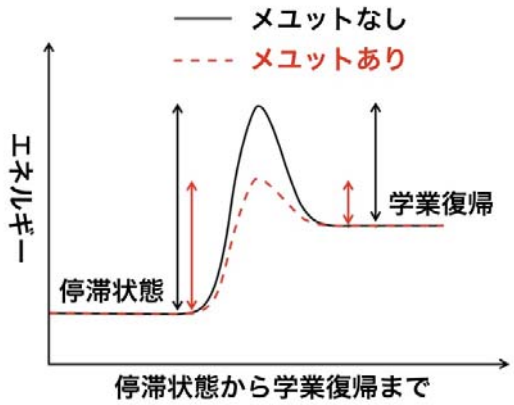
1．不登校学生への支援

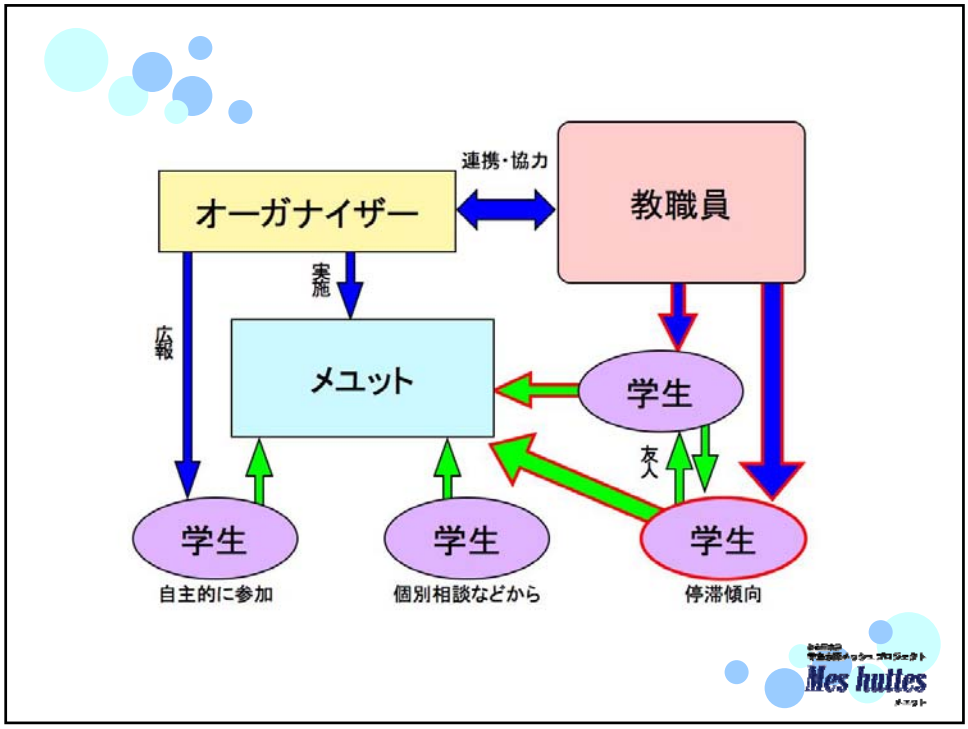
大学の中に新しい居場所（仮住まい）を提供し、
支援の網の目に入ってもらうきっかけをつくる。

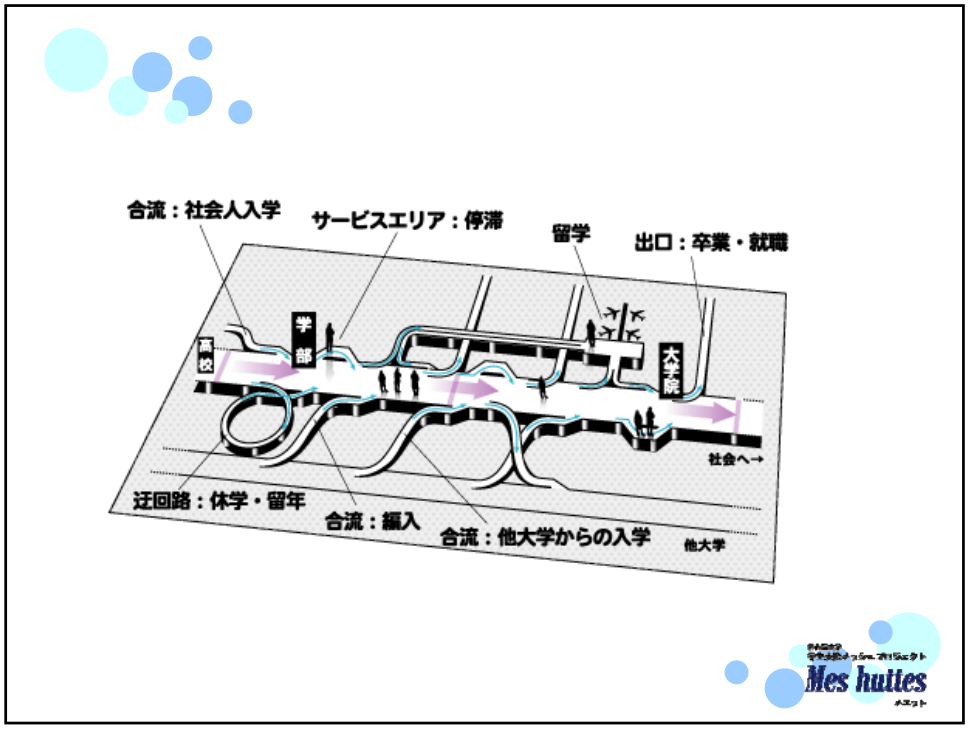
2．不登校や不適応の予防

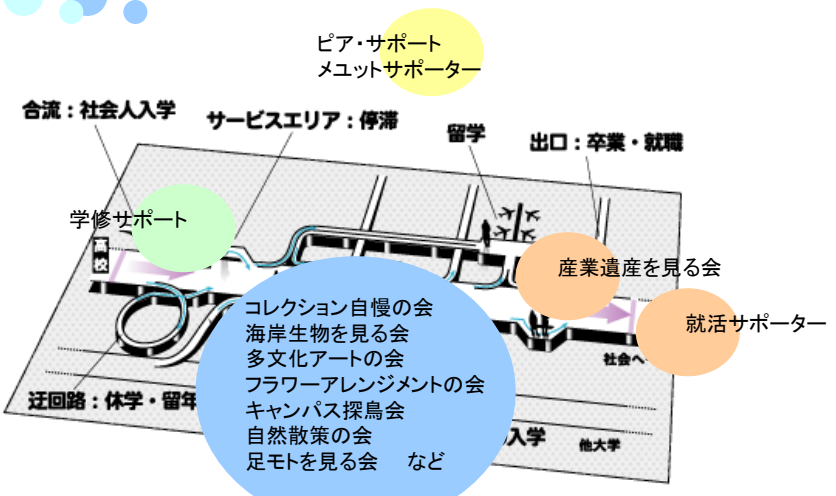
知的好奇心の拡大。
新しい人との出会い。
「リフレッシュ」を提供することによる、大学とのつながりの強化・拡大。

学生支援においてメユットが果たす”触媒”機能




連携・協力
オーガナイザー
教職員
実施
広報
メユット
学生
友人
学生
学生
学生
自主的に参加
個別相談などから
停滞傾向


合流：社会人入学
サービスエリア：停滞
留学
出口：卒業・就職
学部
大学院
社会へ→
迂回路：休学・留年
合流：編入
合流：他大学からの入学
他大学



コレクション自慢の会





目的：お互いのコレクションや趣味について語り合いながら
相互交流を深める。

実施回数：10回

実施場所：ベンチャービジネスラボラトリー

フラワーアレンジメントの会





目的：フラワーアレンジメントを通して
　　季節の花々に触れながら相互交流を深める。

実施回数：4回

実施場所：ベンチャービジネスラボラトリー

キャンパス探鳥会

博物館連携企画





目的：キャンパスを歩いて野鳥や自然に触れながら
　　分野に関わらず学問の魅力に触れる。

実施回数：2回

実施場所：東山キャンパス内

海岸生物を見る会

博物館連携企画





目的：海について語ったり、実際に海岸で生物に触れたりしながら
交流を深めるとともに、知的関心の幅を広げる。

実施回数：4回

実施場所：博物館、博物館野外観察園セミナーハウス、
礫ヶ浦海岸（知多半島）、南知多ビーチランド、
野間海岸（知多半島）

自然散策の会

総合保健体育科学センター連携企画





目的：山を歩いて自然に触れながら相互交流を深める。

実施回数：4回

実施場所：あいち海上の森
猿投山
伊吹山
せせらぎ街道・大倉滝

足モトを見る会





目的：身近にある石材や鉱物の観察を通して、
地球科学をはじめ、さまざまな分野の学問の魅力に触れる。

実施回数：4回

実施場所：名古屋大学豊田講堂
せせらぎ街・大倉滝
名古屋市栄周辺

多文化アートの会

留学生相談室連携企画





目的：アラビア書道、ブロック制作、コラージュ制作などを通して、
日本人学生と留学生の交流を深める。

実施回数：9回

実施場所：留学生センター

学修サポート　coco mix

経済学研究科連携企画





目的：主に学部1，2年生を対象として、先輩学生が
自身の経験を活かしつつ学修のサポートをする活動。

実施回数：毎週

実施場所：経済学研究科

MINT mes huttes interactive network





目的：インターネット上の学生どうしの
コミュニケーションスペース（SNS）。
実際のグループ活動のコミュニティをMINT上にも立ち上げ、
情報交換やコミュニケーションを行う。

※　画面は開発中のものです。

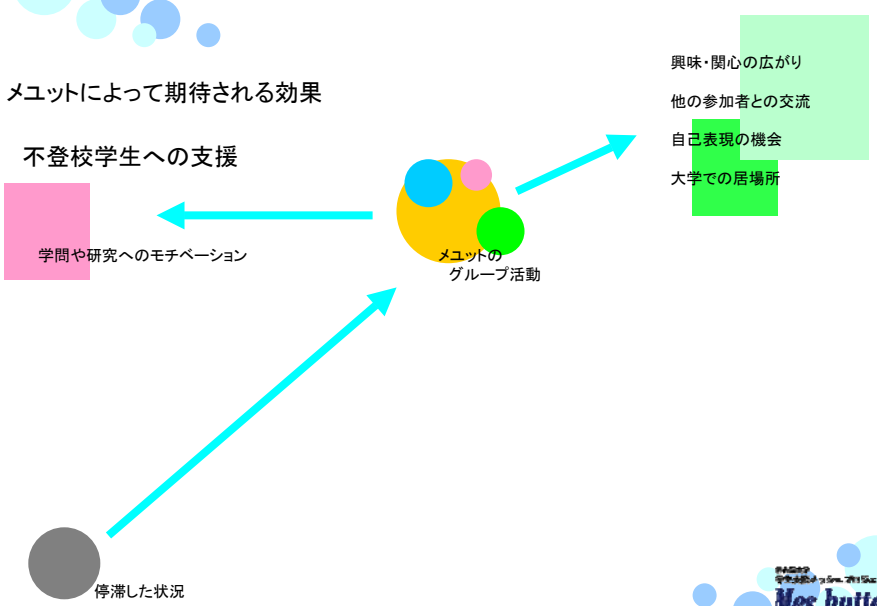
今後展開予定の活動

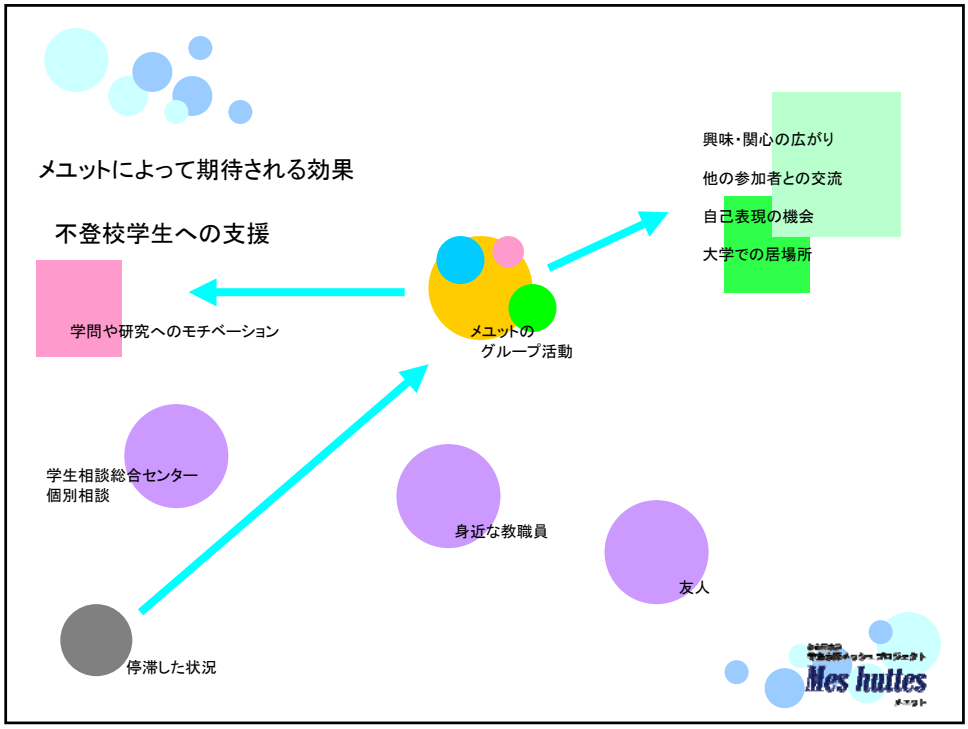
産業遺産を見る会
　産業遺産の見学を通し、産業や職業に関する興味・関心を持つきっかけにする。
　新しいタイプの出口支援を目指した活動。

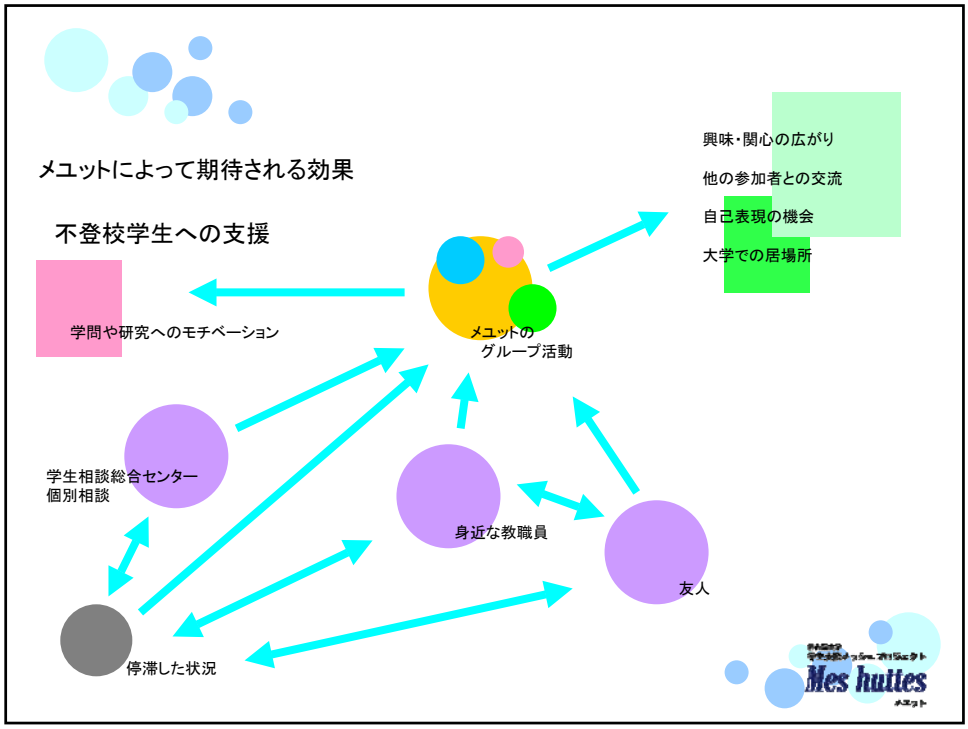
メユットサポーター
　学業から足が遠のいてしまった学生、
　つまづきつつある学生たちが、
　授業や専門から離れたところで関心を持つことをきっかけに、
　教員とコンタクトをとりやすくする。

メユットによって期待される効果

不登校学生への支援




メユットによって期待される効果
不登校学生への支援
興味・関心の広がり
他の参加者との交流
自己表現の機会
大学での居場所
学問や研究へのモチベーション
メユットの
グループ活動
学生相談総合センター
個別相談
身近な教職員
友人
停滞した状況
Mes huttes


メユットによって期待される効果
不登校学生への支援
興味・関心の広がり
他の参加者との交流
自己表現の機会
大学での居場所
学問や研究へのモチベーション
メユットの
グループ活動
学生相談総合センター
個別相談
身近な教職員
友人
停滞した状況
Mes huttes

メユットによって期待される効果

不登校学生への支援

事例1（理系学生・男性）

・当センターのメンタルヘルス部門において精神科医の個別相談を受けていた。

・精神科医よりメユットのコレクション自慢の会を勧められて参加。

・初めは緊張して誰とも話をしない。→ 回を追うごとに緊張がほぐれ、
他者とのつながりを感じる機会が増える。

・他のグループ活動にも参加するようになり、大学での居場所が拡大しつつある。

メユットによって期待される効果

不登校学生への支援

事例2（文系学生・男性）

・当センターのメンタルヘルス部門において精神科医の個別相談を受けていた。

・大学にはほとんど行っていない状況。

・コレクション自慢の会第4回の京都古書市に参加。

・専門関連の古書に触れ、再び勉強を始めてみようと思ったと感想を話す。

メユットによって期待される効果

不登校などの諸問題に対する予防的効果

知的好奇心の拡大（文系学部生・女性）

・海岸生物を見る会に参加。
・はじめて聞いたり見たりすることばかりで楽しかった、興味の幅が広がったと笑顔で感想を話す。

対人関係の拡大（理系大学院生・男性）

・コレクション自慢の会に参加。
・下宿で一人暮らしをしていて、家と大学院の往復をする毎日。
・コレクション自慢の会に参加して普段は会えない人と話ができることは嬉しいと話す。

リフレッシュ（理系大学院生・女性）

・フラワーアレンジメントの会に参加。
・集中して創作活動に取り組む。
・普段はしない活動に没頭できたので楽しかったと話す。

→これらの効果は不登校の予防につながると考えられる

学生とメユットをつなぐためのルートづくり
メユットから教職員のみなさんにお願いしていること

FDなどの機会に
教職員のみなさんにお伝えしています。

Q-1. どんな学生をつなげたらいいのですか？

A-1. たとえば・・・
・授業や研究室にあまり顔を出していない学生。
・何らかの悩みを抱えていながら、学生相談の個別相談にはなかなか行けない学生。
・一人で孤立していて心配な学生。
・研究に行き詰まっていて息抜きが必要なのではないかと思われる学生。

メユットは、名古屋大学のすべての学生のためのものです。
心配な学生だけでなく、活動の内容に関心のある学生がいましたら、ぜひご紹介ください。

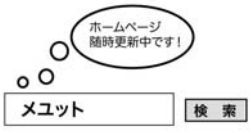
学生とメユットをつなぐためのルートづくり
メユットから教職員のみなさんにお願いしていること

FDなどの機会に
教職員のみなさんにお伝えしています。

Q−2. どのように学生に声をかければいいでしょうか？

A−2.
適応上の問題があるからという理由で「メユットに行ってみては」と声をかけると、
学生にとっては敷居の高いものになってしまうかもしれません。
メユットのパンフレットやチラシを使いながら、
学生の興味関心に応じて、それぞれの会を紹介されてはいかがでしょう。

大学に来にくい学生は、義務や強制が苦手なので、
そういう風に感じるような表現は避けてみてはいかがでしょう。





名古屋大学メユットを、
どうぞよろしくお願いいたします。

名古屋大学学生支援GP推進室（学生相談総合センター内）
担当： 加藤・田中・桂田
TEL: 052-747-6456
E-mail: meshuttes@htc.nagoya-u.ac.jp
URL: www.htc.nagoya-u.ac.jp/gakuso/meshuttes/